

# 「サミット」を前にJR東海会社自らが「テロ行為」を行う

## ゴールデンウィーク輸送の真っ只中、大阪第二車両所の管理者が新幹線のボルトをこっそりゆるめる！！

ゴールデンウィーク輸送の真っ只中で、社員が日曜も祝日もなく額に汗して働いていた4月29日に、大阪第二車両所の交番検査を行っている最中、会社管理者がライニング取付ボルトや車体のフサギ板の取付ボルトをゆるめるといふ、とんでもない行為を行っていたことが明らかになった。このような「行為」は今回に限らずこの間行われていたという。

会社はボルトをゆるめたことを認めた上で、「社員の技術向上のため」だとしているが、許されることではない。日頃社員は、作業の細かい動きまで「作業の標準化」ということで管理され、車両に手を加える時は「チョークチェック」などが細かく言われるのである。それが出来ていないことが、この間のボーナスカットなどの理由にもされているのである。

管理者は何をしても許されるのか?! この傲慢な姿勢こそ、葛西会長が自らの夢「リアア」実現に向けて、「新賃金制度」や「休日出勤」をはじめ社員にツケを転嫁する姿勢そのものである。

**安全・安定輸送を会社自らが覆す!**

**会社はどう責任をとるのか!!**

日頃、関西支社管内の車両所で管理者は、「標準化作業の点検」だとか「主任レポートに関する教育」などでわかったような顔でものを言っているが、もはや管理者の言うことは信用できない。またえらそうにもものを言う資格はない。

7月の「洞爺湖サミット」を前に、日頃会社は「セキュリティーの強化」を口うるさく言っているが、今回の件は会社自らが「こっそりと新幹線のボルトをゆるめるといふテロ行為」を行ったということである。

会社はどう責任をとるのか!!